

令和4年度 事務局本部事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・施設共通事業の実施、施設事業の支援等によるサービス向上推進と利用促進

(2) 観光振興への寄与

- ・鳥取県や観光関連団体との連携強化による観光振興への寄与

2 令和3年度重点項目の成果等

(1) 働きやすい職場環境づくり

- ・コロナと特別休暇やワクチン接種後の対応などコロナ禍の中で安心して働ける環境を整えた。
- ・勤怠管理システムの導入等の効果等の検討を行った。

(2) 顧客満足度事業の実施

- ・お客様満足度向上委員会が中心となり、「smile To smile キャンペーン」を全職員で実施し、来園されたお客様へに好印象を持ってもらいながら、職員のおもてなしの意識を高めることができた。

(3) 研修の実施について

- ・職責や勤務年数に合わせた研修を実施し、職員の能力発揮に努めた。
- ・採用1、2年目研修は本部職員がオリジナルの研修を企画し、人材育成に新たな手法を取り入れた。

3 令和4年度に取り組む重点項目

(1) 【継】 働きやすい職場環境づくり

コロナ禍の中だが、職員が働きやすい職場環境を整える。

- ・ワークライフバランスの推進
- ・職員の処遇改善（休暇が取りやすい環境整備など）
- ・現在の業務規程の見直しや業務効率化への検討（決裁規程・勤怠管理の効率化）

(2) 【新】 職員のレベルアップのための研修の見直しについて

職員個々のレベルアップを図ることで、事業団全体のレベルアップを図る。

- ・実際の業務に使える研修の探求、実施（SNS研修、労務管理、管理職研修など）
- ・オリジナルの研修を企画し、事業団職員の育成向上を目指す。

(3) 【拡】 SNS や YouTube を活用した広報活動の推進

- ・ソーシャルメディア等 WEB 広報の推進
- ・新たな WEB 広告メディアの探求（LINE 公式アカウント）
- ・アナリティクスやアンケートのデータを収集し、分析する体制を作り、広報の効果検証やターゲットのニーズ等の洗い出しなどを行って、集客増を目指す。

4 令和4年度その他の取組項目等

(1) 鳥取県の所管課と緊密に連携した、迅速な課題解決

(2) 感染拡大防止対策の強化

5 コロナ感染継続時の対応

各施設の収支状況を把握し、施設協議の上、事業予算の縮小凍結など、優先順位をつけた事業運営を進める。

令和4年度 鳥取砂丘こどもの国事業計画

<p>1 管理運営の基本方針</p> <p>(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進 児童の健全育成に資する魅力ある事業の実施</p> <p>(2) 観光振興への寄与 鳥取市内の観光施設及び鳥取砂丘施設との連携強化</p> <p>(3) 安心して遊べる環境 日常・保守点検の充実と迅速な修繕</p> <p>(4) 自然とふれあう場所の提供 樹林地の整備</p>
<p>2 令和3年度重点項目の成果等</p> <p>(1) 花の丘造成について 3年度はひまわり園として造成していたが、開花後すぐ、台風接近による影響で花は壊滅状態。関連したイベント等も開催出来ず。</p> <p>(2) ぼうけんアスレチックコースの新設及び樹林地整備について 5年計画中の3基目の遊具を設置。2年度同様コロナの影響もあり、有効的な活用が不十分。</p> <p>(3) 真夏のスケートイベントについて コロナ感染防止のため中止</p> <p>(4) 星空イベントについて コロナ感染防止のため中止</p>
<p>3 令和4年度に取り組む重点項目</p> <p>(1) 【継】花の丘造成について←2(1) 4年度は、春にチューリップ園で楽しんでいただき、球根堀のイベントも開催。華やかさと親子のふれあいの場を設ける。</p> <p>(2) 【継】ぼうけんアスレチックコースの新設及び樹林地整備について←2(2) 樹林地に木製アスレチック遊具を設置。4年度で4基目。周知、利用促進を図るため、現場付近でのイベント（自然観察会等）を開催。</p> <p>(3) 【継】真夏のスケートイベントについて お盆期間に樹脂製スケートリンクを設置し、夏季に体験出来ないスケートを、家族で楽しんでいただき、話題性を高める。</p> <p>(4) 【継】星空イベントについて 冬季にモバイルプラネタリウムを設置。かつてこどもの国にはプラネタリウムがあり、当時を知る人には懐かしさと、星取県の魅力を発信し家族で楽しんでいただく。</p>
<p>4 令和4年度その他特記事項等</p> <p>(1) 食育イベント「マルコラ」の開催（5月中旬～6月中旬の間）</p> <p>(2) 鳥取砂丘西側エリア整備に伴い、キャンプ場の管理は8月31日までとなる。 今後、同整備関係者との連携等を検討する。</p>
<p>5 コロナ感染継続時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・屋内イベントについては、マスクの着用、消毒、換気を徹底する。・感染状況によって、イベント中止、内容変更、人数制限を行う。・食育イベントの実施については、慎重に検討する。

令和4年度 とっとり賀露かっこ館事業計画

<p>1 管理運営の基本方針</p> <p>(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none">・お客様目線でのサービスの充実や魅力あるイベントの開催による集客の促進 <p>(2) 観光振興への寄与</p> <ul style="list-style-type: none">・賀露地域の事業者と一体となった事業の実施による地域の賑わいの創出 <p>(3) 水産振興への寄与</p> <ul style="list-style-type: none">・イベント・展示を通じ、カニを中心とした鳥取県の水産資源の魅力を発信
<p>2 令和3年度重点項目の成果等</p> <p>(1) えさやり体験の拡充</p> <ul style="list-style-type: none">・季節により魚種を代え毎日1～4種類のえさやりを実施した・収入を確保できた・食欲の落ちる冬場の魅力向上と収益確保が課題 →3 (2) <p>(2) 展示パネル更新</p> <ul style="list-style-type: none">・経費削減のため中止 (職員の創意工夫によって内容の充実に努めた) <p>(3) クラゲ季節展示</p> <ul style="list-style-type: none">・夏～冬期間、季節の展示を取り入れながらのクラゲコーナーを定番化・クラゲ目当ての来館者も多い・夏場の電気代削減が課題
<p>3 令和4年度に取り組む重点項目</p> <p>(1) 【新】新型コロナウイルス感染症対策飼育業務委託</p> <ul style="list-style-type: none">・飼育職員が新型コロナウイルスに罹り、職員の出勤が不可となった場合、他団体に飼育業務を再委託などする <p>(2) 【新】バックヤードミニツアー ←2 (1)</p> <ul style="list-style-type: none">・えさやり体験に代わる、冬場の魅力向上対策・収益確保として実施 <p>(3) 【新】週末早得プレゼント</p> <ul style="list-style-type: none">・館内入場制限を行っている中、入館者の少ない時間帯等に入館を促すことで、入館者の増を目指す。・入館の分散を促しプライムタイムでの入館規制解消を目指し、利用者を待たせることを少なくし満足度の向上を目指す。
<p>4 令和4年度その他特記事項等</p> <p>(1) 【継】水生生物飼育にかかる人材育成</p> <ul style="list-style-type: none">・すさみ町立エビとカニの水族館への飼育員派遣・職員全体の飼育技術引き上げ <p>(2) 【継】幼稚園、保育園、小学校(生)向け校外学習体験</p> <ul style="list-style-type: none">・ヒラメの幼魚放流・飼育員体験イベント
<p>5 コロナ感染継続時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・人材育成などのための、県外への派遣や交流は中止する

令和4年度 夢みなとタワー事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・お客様目線でのサービスの充実、魅力あるイベントの開催による更なる集客の促進

(2) 観光振興への寄与

- ・鳥取県及び環日本海諸国を中心とする自然、歴史、文化の紹介や情報発信
- ・地域連携イベント等を通じた賑わいの創出による観光振興

(3) 周辺施設との連携による賑わいの創出

- ・周辺施設、関係機関との連携により、竹内地区の賑わいを創出

2 令和3年度重点項目の成果等

(1) 新日本海新聞社と連携した大型イベントの開催

- ・春の大型企画展「ざんねんないきもの事典」はコロナ対策をした上で実施
- ・夏の大型企画展「沖縄の海とサンゴ礁の水族館」はコロナ対策をした上で実施

(2) イベントの充実について

- ・オリンピックパブリックビューイングは中止
- ・eスポーツ大会は「カニノケンカ大会夢みなとカップ」として規模縮小して実施

(3) 周辺環境の変化への対応について

- ・境夢みなとターミナルとの連携は利用客が無いため小規模な連携のみ実施
- ・物販施設との連携は韓国食材のイベントやイベントチラシの配布などで営業を支援

(4) その他、令和3年度主な成果

- ・予約の空いた多目的ホールを無料開放することで地元子育て家庭等へ遊び場を提供
- ・マトリョーシカ展示の拡大、物販事業者と連携した韓国食品のふるまいなど、環日本海諸国の文化発信の充実

3 令和4年度新たにに取り組む重点項目

(1) 新日本海新聞社と連携した大型イベントの開催

- ・春は大型催事の開催中止が確定⇒感染状況を見ながら小規模イベントを単独開催
- ・【継】夏「アリス in サイエンスワールド` (仮)」 R4年7月16日～8月22日の37日間

(2) イベントの充実

- ・【拡】「国際交流の日」の内容を見直した上で開催回数を増やして実施
- ・【拡】「カニノケンカ大会夢みなとカップ」を中心としたeスポーツイベントを規模・日数を拡大して実施

(3) 周辺環境の変化への対応

- ・【継】物販施設運営事業者との連携強化
- ・【継】クルーズ船再開後の境夢みなとターミナルとの連携強化

4 令和4年度その他の取組項目等

(1) コロナ後の需要変化への対応

- ・【拡】リモートワーク、リモート会議需要に対応した貸会議室へのネット環境整備を、特別会議室、企画展示室へも拡充
- ・【拡】県内教育旅行需要へ対応した学校・子供会向け体験メニューの開発、広報

5 コロナ感染継続時の対応

(1) 感染拡大防止対策の徹底による安心安全なサービスの提供

- ・新型コロナウイルス感染予防対策マニュアルに基づく感染拡大防止対策の徹底

(2) 感染拡大状況に応じた事業の見直し

- ・新型コロナウイルス感染症対応事業継続計画（BCP）に基づき、感染拡大状況に応じて段階的に事業内容および集客範囲の見直しを実施することで、貸館やテナント管理といった観光部門以外への影響を最小化
（鳥取県企業BCP基本モデルに準拠した事業継続計画（新型感染症対応）を策定済）
- ・特に共催事業に関しては、基本的に感染拡大状況に応じて入場制限等の対策を取って可能な限り開催するが、集客が見込めず事業の採算が危ぶまれる場合は、相手先と協議の上、内容の変更や中止も想定。中止の場合は自主の小規模イベントで臨機の対応

令和4年度 東郷湖羽合臨海公園事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・公園施設の整備

(2) 観光振興への寄与

- ・ウォーキング大会、ウィンターイルミネーション等実施

(3) 新たな視点による公園づくり

- ・植生にあった新規植栽の導入

(4) 住民ニーズに対応したイベント開催、地域貢献

- ・子育て応援、シニア向けの軽運動教室の充実

(5) 安全・安心に配慮した公園管理

- ・公園施設、遊具の安全点検の強化

2 令和3年度重点項目の成果等

(1) 公園づくりについて

- ・南谷地区パーゴラ整備「パーゴラ上部に日よけ（雨よけ）設置」（今年度内実施）
- ・あじさい園整備「新規植栽の状況を把握し補植整備」（生育よく補植なし）

(2) SDGs（持続可能な開発目標）の取組みイベントについて

- ・SDGsで掲げる目標に即した内容でイベントを計画。「リサイクル」をテーマにし、フリーマーケットの実施。（3月の燕趙園との連携イベントとして検討）
- また、「クリーン活動」をテーマとした、参加型ゲーム形式のイベントの実施。（SDGs クリーンウォークとして実施）

(3) ドッグランをイベント時に試験的に実施

- ・ドッグランを単体で試行実施。利用者が多く継続希望者多数で、本格実施に移行した。

3 令和4年度に取り組む重点項目

(1) 【新】長和田地区未整備地整備

- ・長和田公園と燕趙園の中間に位置する未整備地を土盛りウォーキング等の休息地とする。

(2) 【継】樹木の間伐及び生育不良木の植替

- ・立枯れしている樹木を伐採及び生育不良樹木の植替えする。

(3) 【新】Sea side マラニック in 臨海公園

(4) 【新】SDGs フリーマーケット

(5) 【継】SDGs クリーンウォーク

4 令和4年度その他特記事項等

- ・公園内の遊具が全て更新されたので、全遊具リニューアルをPRする。

5 コロナ感染継続時の対応

- ・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し開催とするが、周辺地域のイベント可否の状況を見て、実施出来るか判断する。

令和4年度 中国庭園燕趙園 事業計画

<p>1 管理運営の基本方針</p> <p>(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進</p> <p>(2) 観光振興への寄与</p> <p>(3) 中国文化の発信</p>
<p>2 令和3年度重点項目の成果等</p> <p>(1) 夏休み特別イベントについて 新型コロナ対策を施し「へんないきもの水族館」を実施。平年より会期を1～2週間延長し12,000名(37日間)を集客。</p> <p>(2) 臨海公園連携イベントについて 燕趙園の牡丹と臨海公園の芝桜の周遊ラリー、秋の感謝祭を道の駅収穫祭と同日開催。イルミネーション連携は集客増となる。</p> <p>(3) 道の駅・老龍頭利用促進について 道の駅10周年感謝祭・収穫祭を実施し賑わいを創出。</p> <p>(4) 広報事業の強化について 夏催事に合わせて他施設共同の広報を実施。 コロナ禍により、予定していた施設周知TVCMの中止。</p> <p>(5) その他、試行的イベントについて 燕趙園活用促進として、試行的にグランピング、ビンゴビンゴビンゴフェス、パン祭り、湯梨浜学園展示を開催。</p>
<p>3 令和4年度に取り組む重点項目</p> <p>(1) 【継】新日本海新聞社、夏休み特別イベントについて 「恐竜王国(仮)」を予定。新型コロナ対策として、会期の長期化(37日間以上)を図る。</p> <p>(2) 【継】臨海公園連携イベントについて 花及びイルミネーションの連携を行い燕趙園と臨海公園の周遊促進。秋の感謝祭、春のこどもまつりを共同で行い賑わい創出を図る。</p> <p>(3) 【継】道の駅・老龍頭の利用促進について さらなる地域密着型を目指し、イベントによる周知の徹底。また、ご当地パン販売などで集客を図る。</p> <p>(4) 【継】広報事業の強化・HPの更新について TVCM、SNSの有効活用を行い一般広報の強化。公式HPの全面リニューアルを実施。コスプレの楽しさ、太極拳等中国文化を発信して集客を促進</p>
<p>4 令和4年度その他特記事項等</p> <p>(1) 山陰・山陽花めぐり街道協議会</p> <p>(2) 中華コスプレ大会</p> <p>(3) ウォーキング大会(ガストロノミーウォーク、100kmウォーク)</p>
<p>5 コロナ感染継続時の対応</p> <p>・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、イベントの規模縮小・中止等柔軟に対応。</p> <p>・オンライン活用等の実施を検討。</p>

令和4年度 鳥取二十世紀梨記念館事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・お客様の視点に立った心を込めた接客、展示内容や梨に関する専門的な説明などガイド機能の充実、県産梨を使用した梨記念館の魅力向上、県産梨の消費拡大への寄与

(2) 観光の振興

- ・中部地域の観光関係団体等と連携した営業活動
- ・ホームページやSNS、マスメディアの活用など効果的な広報宣伝

(3) 果樹の振興

- ・ガイド機能の強化や梨の食べくらべ、試食会等の実施による県産果樹の情報発信
- ・鳥取梨つくり大学の開講や梨のなんでも相談室の常設による梨生産農者等への情報提供

(4) 食農教育の推進

- ・学校関係者のニーズに対応した入館メニューの開発
- ・梨に関する体験学習の実施
- ・夏休み親子自由研究教室の開催

2 令和3年度重点項目の成果等

(1) 20周年事業

- ・AR イベントを2回開催。個人のスマホを使用して期間中いつでも楽しめるほか、コロナ禍における非接触型イベントとして新たな取り組みが出来た。
- ・地元のイラストレーター伊吹春香氏のイラスト展を開催。梨やなしっこ館を題材にした作品もあり、メディアの注目も集めた。普段とは異なる客層の来館も多く見られ、視点を変えた梨や施設のPRにも繋がったほか、コラボグッズの展開により、グッズ販売による収入面での効果も見られた。
- ・友の会新規入会キャンペーンを、ファミリー客が多く訪れる夏休み期間に実施。特典付きの効果もあり、期間前半は順調に新規会員を獲得していたが、後半はコロナ感染拡大第5波による来館者数減の影響もあり、伸び悩んだ。
- ・販売キャンペーンとして、特価による梨の販売や、売店商品へ記念シールを貼るなど、イベントや装飾以外の部分でも20周年を盛り上げた。フルーツパーラーでは「なしっこクリームソーダ」を開発し、梨ソフトクリームに次ぐ販売数を記録した。

(2) SNS活用の強化

- ・梨の食べ比べ、販売梨、イベント情報に加え、何気ない日々の一コマや館内の様子等を地道にツイッターで情報発信し続けた結果、約1年でフォロワー数が4倍以上増加した。

(3) 体験型メニューや食イベントの拡充

- ・夏休み親子自由研究は予約枠が受付開始から早々に埋まっていたが、開催時期がコロナ感染拡大第5波に重なってしまい、中止とした。
- ・「梨漫遊記」と題し、3品種のうち1品種を他県の梨に変更した食べ比べを実施。普段県内では目にすることも無い品種だったため、貴重な機会だったと好評だった。

(4) ネット販売の強化

- ・ネットからの購入者へ晩生梨販促メールを送信。例年異なる時期に注文が入る購入者からも注文が入り、メール送信後のひと月で対前年の3倍以上売り上げた。

3 令和4年度に取り組む重点項目

(1) 【新】「梨」企画展

- ・地元作家による「梨」を題材に取り入れた作品展

(2) 【新】王秋（晩生梨）まつり

- ・晩秋から冬にかけての晩生梨の魅力発信による認知度向上・消費拡大

(3) 体験型イベント

- ・好評のワークショップイベントに季節感やテーマ性をプラスして実施

(4) 【継】SNS活用の強化

- ・日本で唯一の梨のミュージアム、梨の聖地として全国に向けた梨関連情報の発信
- ・観光客に向けた梨の食べ比べ・販売梨・イベント情報の発信

(5) 【新】出張「梨のまんがパネル展」

- ・鳥取「梨作りの歴史」を楽しく、分かりやすく伝えていくとともに、なしっこ館への誘客

4 令和4年度その他の取組項目等

- (1) 梨新品種、新栽培法（ジョイント栽培）の技術向上を目的とした「梨コンクール」の実施
- (2) 梨の生産振興を目的とした「鳥取梨つくり大学（年12回）」「梨つくり大会」の開催
- (3) 果実の生産技術を競う「全国巨大ナシコンテスト」の開催

5 コロナ感染継続時の対応

- (1) (3) は感染状況により規模縮小または中止する。
- (2) (4) (5) は感染状況に関係なく実施する。

令和4年度 氷ノ山自然ふれあい館事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・ビジターセンター機能の充実と魅力ある自然体験プログラムの実施
- ・安心して、楽しく、快適に過ごせる施設として展示や用具等の環境整備

(2) 観光振興への寄与

- ・地元の観光資源、自然資源を活用したイベントやエコツアー等の実施
- ・地元団体等と連携したイベント等の取り組み

(3) 営業・広報活動の充実

- ・鳥取県東部幼稚園、小学校、公民館等への営業やSNSによる情報発信

2 令和3年度重点項目の成果等

(1) 春（GW）、夏、秋の特別企画等の開催

- ・GW「ネイチャーキッズフェスティバル」は、ゲームコーナーをコロナ対策として無料・景品無しで実施。安心して気軽に遊べることから好評だった（R4年度継続）。夏休み特別企画「小西貴士写真展」は、コロナの感染拡大により入込数が前年より半減したが、SDGsも絡めたワークショップが好評だった。秋の特別企画「森のクマさんどこへいく」の入込数は前年対比約90%。シンポジウムをオンラインでのライブ配信やYouTube公開で発信することができた（R4年度継続）。

(2) わかさ氷ノ山・山フェスの分散開催

- ・実行委員会事務局を引き受け、コロナ対策として期間及びイベントを分散して開催。グランピングやグラススキー等の新メニューも行い、約1,500人の入り込み。

(3) 出前事業の増

- ・小学校への広報により、宿泊研修の事前・事後の出前授業が増えた。また、職員の実績や技能への評判から保育士向けの自然講座等も増えた。

3 令和4年度に取り組む重点項目

(1) 魅力あるプログラムの企画・広報・開催

- ・夏休み企画（生物多様性に関する展示）や秋の特別企画（動物写真展）、地元団体や関係機関の作品展等の開催
- ・幼・保育園、小学校、事業団施設等への出前を実施（野外活動、創作体験、講座等）
- ・【新】近年好評であるガイドウォーク等親子向けエコツアーを広報し集客を図る。

(2) 地域との連携

- ・わかさ氷ノ山・山フェスや夏山開き等地元関係者と連携したイベント開催への取組

4 令和4年度その他特記事項等

(1) 【新】鳥取県補助金事業「生物多様性保全事業」

- ・氷ノ山に生息する希少な植物の現状調査や観察会、保護柵設置等に、響の森クルー（ボランティア）や参加者（家族等）と共に取り組む。

5 コロナ感染継続時の対応

- ・鳥取県新型コロナ安心対策認証店及びわかさ氷ノ山安心観光・飲食エリアとして対策に取り組む。
- ・定例イベントは、感染状況に応じて定員を減らす、または延期や中止にする。

令和4年度 とっとり花回廊事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

利用者の立場に立ったサービスや新規に植栽の見どころづくり、庭園の魅力を高め、各種イベントの充実と地域と連携した展示や発表の機会を拡大

(2) 観光振興への寄与

花をテーマとしたショーガーデンとして、植栽テーマを持ったクオリティの高い庭づくりを実施

(3) 県内花き園芸の振興への寄与

県内優先調達による花き生産者の生産の安定や関係機関と連携し生産者の技術指導を実施。県産切花展示の実施などPRにも注力する。

2 令和3年度重点項目の成果等

(1) 年間テーマ「Smile」

来園者が笑顔になる展示をテラスをはじめイベントや企画展示において実施した。事業団全体の「スマイルキャンペーン」とリンクするなど広がりのある展開とすることができた。

(2) 入園券自動発券機の導入

7月1日から運用開始。設定によりチケットの記載内容を変更することで、花の少ない時期に園内施設のサービス券をつけるなど柔軟な対応をすることができた。

(3) 友の会会員増キャンペーン

コロナ禍のなかでも、とっとり花回廊の広い園内で安らぎを感じていただけるよう、令和3年度の1年間限定で入会・継続キャンペーンを実施し会員数の増加を図ったが、県のキャンペーンにより入園料が半額となっていたため、友の会の優位性が低下し会員数は伸びなかった。

LINE会員を新設し、割引サービスやイベント情報の提供などを行った。

(4) WEB関連の発信力強化

若手職員を中心としたプロジェクトチームを編成しYouTubeでの動画配信を行った。ツイッターを幅広い職員で投稿できる体制とし、園芸作業の紹介など多様な情報発信を行った。

(5) 花のスイーツ提供

レストランにて鳥取県産エディブルフラワーと南部町産いちごなど地元産の食材を使用した「とっておき苺の花ワッフル」をスイーツの新メニューとして提供した。

(6) 園内魅力づくりの取り組み

「既存の強みの強化」、「家族連れ・若年層への魅力強化」、「見るプラスα」の観点で3年計画で取り組んでおり、令和3年度はトレインルートの充実で、マメナシの植栽、緑肥作物等を使用した花畑の整備を実施した。またその他のエリアの充実も次年度以降のオープンに向けて準備を進めた。

3 令和4年度取り組む重点項目

(1) 年間テーマ「Happiness ～幸せの花空間～」【新】

令和3年の「Smile」に続き、年間の園のテーマを「Happiness」としてお客様に幸せな気分を感じていただける展示を実施する。縁起の良い植物や幸せを呼ぶフォトスポットなどを設置し、幸せの空間を演出する。

(2) WEB関連の発信力強化【拡】←2(4)

「YouTubeチャンネル」に加え、インスタグラムのリール機能や売店の商品紹介などでも動画を活用した情報発信を継続的に実施するとともに、制作技術の向上やドローンなどの撮影機器の活用も視野に入れた活動を検討する。またSNSの登録者を増やす対策を継続して実施しPR効果を高める。

(3) 園内魅力づくりの取り組み【継】←2(6)

植栽展示において、「既存の強みの強化」、「家族連れ・若年層への魅力強化」。「見るプラスα」の観点で、園内の魅力づくりに3年計画で取り組む。

R4年はバラ園のリニューアル、自然に親しむ広場の一部供用を実施するほか、トピアリー広場の造成、自然散策ゾーンの整備を進める。

(4) メリハリをつけた運営

花の充実期(4~6月)とイルミネーションの集客には近県への宣伝も含めて注力するが、花が少なく屋外施設に不利な夏は費用をとともなうイベントや宣伝には費用対効果をシビアに突きつめて実施を検討する。

(5) 社会状況に合わせた営業

コロナ禍が影響を及ぼす動向に合わせた集客促進対策を実施する。

インバウンド、バス旅行の需要の回復までは、それを補う層の底上げをねらい、近隣地域のリピーター(友の会、子育て世代)に向けた利用促進、学校行事等山陰の団体需要の掘り起こしを行う。また収束時には反動による旅行需要の高まりを逃さずツアー客の誘致を行う。周辺旅館・観光施設との連携を進めエリア内の観光客の取り込みを図る。

4 令和4年度その他の取組項目等

- (1) 皆生温泉との連携(皆生花壇事業の継続、PR事業の連携)
- (2) 周辺市町村との連携(南部町花火大会、成人式、ウォークラリー等)
- (3) 鳥取県造園建設業協会、鳥取県花卉振興協議会事業への参画
- (4) 手作りベンチ制作等米子高専との連携
- (5) 山陰・山陽花めぐり街道協議会
- (6) 駐車場・ステージのイベント利用の促進と連携
- (7) フラワーイルミネーションの実施(自主施工中心で実施、DMX導入を検討)
- (8) ササユリの保全・増殖をとおした花育、SDGsの取り組み

5 コロナ感染継続時の対応

第4期指定管理の事業計画に沿った魅力づくり事業は、変更なく事業を進める。

広報、イベントは感染拡大状況・社会の景気動向に合わせて、ターゲットエリアを縮小するなど、適宜見極めをしながら実施していく。

その他の施設管理・植栽業務等においても経費節減に努め、効率的な運営を行う。